

栗島浦中学校 学習指導の大綱

学習指導部

◆目標

基礎的・基本的な学習内容を身に付け、主体的・対話的に学習する生徒の育成

◆目指す具体的な生徒の姿

- ① 定期テストで目標点を達成する生徒
- ② 授業に意欲的に取り組み、他者や自身と対話的に学習できる生徒
- ③ 主体的に学習に取り組み、自ら計画した家庭学習を実践する生徒

◆目標を達成するための3つの柱

授業改善

<日々の授業>

- 「主体的・対話的な学び」を重視した授業づくり
- 思考ツールの活用
- 学習の手引きの活用
- 学習のきまり重点項目の徹底

<指導計画>

- 年間指導計画の改善
- 個別の指導プランの作成・実践、およびR P D C Aの実施

<Web配信問題等>

- Web配信問題、全国学力・学習状況調査の有効な活用

<小中連携>

- 小中連携した校内研修の実施

個に応じた指導等の充実

<個別の学習指導計画>

- 生徒の実態に応じた個別の指導プランの作成・実践

<夏季休業中の補充学習会>

- 基礎テストやWeb配信問題を活用した学習支援

<定期テスト前学習優先期間>

- 放課後学習会による学習支援

<基礎テスト>

- 5教科における基礎的・基本的な学習内容の定着

<朝読書>

- 活字を読む習慣づくり
- 集中力・思考力の養成

家庭学習の推進

<家庭学習の習慣化>

- 家庭学習目標時間の設定
- MANAVI TIMEの実施
- 効果的な宿題の実施
- システム手帳の活用

<基礎テストに向けて>

- テスト範囲表の配布とテストに向けた家庭学習の支援

<定期テストに向けて>

- テスト範囲の配布と計画表の作成
- テスト前学習の状況確認と振り返りの実施

<家庭との連携>

- 学習懇談による保護者との連携、情報提供
- 家庭学習強調週間の計画的な実施

<小中連携>

- 小中連携した家庭学習強調週間の実施

令和2年度 栗島浦中学校の学習について

学習指導部

年度初めにかかわる共通理解事項

<学習規律>

- (1) 次の「学習のきまり重点項目」を生徒に徹底させる。そのために教科担任だけでなく、学級担任、全教職員で粘り強く指導をしていく。
 - 目をつなげて聞く。最後まで聞く。
 - ・話の途中で何かを思いついたり、質問したいことがあったりしても、相手の話が終わってから聞くこと。
 - 字をていねいに書く。
 - ・自分だけが読める文字や殴り書きをせず、丁寧に書く意識をもつこと。
 - 聞く人のことを考えながら話す。
 - ・発達段階に合わせてはっきりと話したり、相手のことを意識しながら話したりすること。
- (2) 「学習のきまり重点項目」だけでなく、次の点についても指導を行う。(学習の手引きより)
 - ・授業開始前には席に着き、教科書を読んでいる。
 - ・忘れ物をしない。忘れたときにはすぐに先生に報告する。
 - ・理解できないところは、積極的に先生や友達に質問する。
 - ・宿題や提出物は、期日を守り提出する。

<教科係>

- (1) 各学級・全教科で教科係の生徒を決める。
- (2) 教科係は授業終了後、教科担任に「次の授業の連絡」「宿題」を聞く。
- (3) 教科係は終学活までに、連絡黒板に記入する。

<朝読書>

- (1) 基本的に毎日、始業前の8時から8時10分までの10分間、自分の席で読書を行う。
- (2) 本は各自で用意する(図書室等から借りてもよい)。内容については特に指定はしないが、雑誌やマンガ、写真集などは禁止する。
- (3) 朝読書の時間は教職員がつき、一緒に読書を行う。

<授業開き>

- (1) 「学習の手引き」を使って、各教科で「学習の仕方について」、「評価について」、「準備するもの」等について指導を行う。

<家庭学習>

- (1) 基礎的・基本的な学習内容を身に付けるために、家庭学習を計画的に推進する。
- (2) 家庭学習の習慣化を目指し、MANAVI TIMEを通して、その日の学習時間と学習内容の予定をシステム手帳に毎日記入させる。毎日の家庭学習時間の目安は1年生70分、2年生80分、3年生90分以上とする。

学習にかかわる主な教育活動

<定期テスト>

- (1) 定期テストは1学期期末テスト、2学期中間テスト、2学期期末テスト、3学期期末テストの4回実施する。

<基礎テスト>

- (1) 家庭学習の習慣化と基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、国語・社会・数学・理科・英語の5教科で実施する。

<Webテスト>

- (1) 年に3回、授業中に実施する。
- (2) 問題印刷、採点、集計、結果入力などは学習指導部を中心に行う。
- (3) 結果は全職員で共有し、各教科担任で分析し、指導に生かす。
- (4) 毎回、事前に過去問題の実施および解説を行い、事後に「結果分析」および「授業改善サポート」の配信を受け、授業改善に取り組む。

<学習懇談>

- (1) 年4回（家庭訪問や期末保護者会を含む）実施する。

<家庭学習強調週間>

- (1) 年4回、定期テストの約3週間前からの1週間を「家庭学習強調週間」として、小中合同で実施する。

<学習のきまり強調週間>

- (1) 年2回、5月と10月に小中合同で実施する。

<夏季休業中の補充学習会>

- (1) 夏季休業の初めの1日間、午前中の時間帯を使って行う。
- (2) 基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、基礎テスト問題、Web配信問題（過去問題）およびWeb補充・発展問題を中心に指導を行う。
- (3) 全生徒を対象として、国語・数学・英語の3教科で行う。

その他

<年間指導計画>

- (1) 年度当初に、各教科で年間指導計画を作成し、1部を所定のファイルに保管する。
保管場所：職員室テレビ脇の棚（紫ファイル）
- (2) 小中合同研修・計画訪問・公開授業等を受け、夏季休業中に指導計画を改善する。

<個別の指導プラン>

- (1) 各学期の基礎テスト、NRT、定期テスト、学校評価アンケート等の結果分析や授業の振り返りを生徒個々に行う。必要に応じて改善の方策の作成・実践を行う。